

自社開発技術で 目指せ、特許取得！

株式会社リミックス

自社の技術で特許を取得しようと、
技術者たちが立ち上がった。
特許申請を通して社内起こった変化とは――。

暮らしに役立つヒーターを製造

電子セラミックを応用した製品を製造する企業として2002年に設立された株式会社リミックス。現在は、半導体セラミックの1種、「PTCサーミスタ※」の発熱特性を利用した温風ヒーターの設計・生産・販売を行っている。同社の製品は、浴室の乾燥・暖房、衣類乾燥、食器洗い乾燥機、ジェットタオル、自動車用補助暖房、電気自動車用暖房などに用いられている。

同社の強みは、材料や部品から、「PTCサーミスタ」を全て自社で製造できること。機能性に優れた高品質の製品を生み出している。安価な海外製ヒーターが出回る中、日本製「PTCヒーター」の数少ないメーカーとして顧客の信頼を築いている。

特許申請はたったの願い

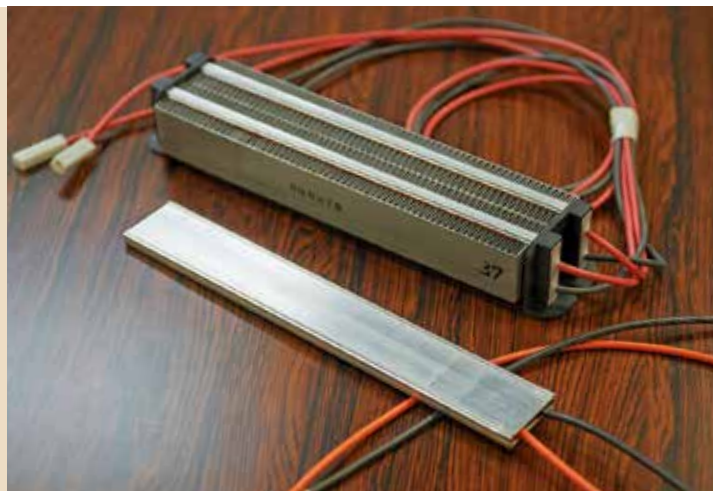
今回の特許申請は、同社の技術担当者たちのたったの願いでもあり、「PTCサーミスタ」の性能向上技術に関して2件の特許を出願した。その際に利用したのが、当センターの「知財総合支援窓口」だ。「昔は特許の申請というと、申請可能かどうかの調査から書類の作成、弁理士への依頼まで全部自分たちで行っていた。それは我々技術者にとって、時間や労力のかかる大変な作業だった」と株式会社リミックスの神原正治社長は振り返る。「それが今回、知財総合支援窓口を利用することで、事前調査から特許申請まで手厚くサポート

※PTCサーミスタ…温度センサー機能を持つ電子材料。温度が上がると抵抗値が急激に増大し（電流が流れにくくなり、温度の上昇を抑えられる）、逆に温度が下がると電流が流れやすくなる性質がある。これらの性質を利用して、温度を一定に保つ発熱体（ヒーター）や、電流を制限するための部品、温度センサーなどとして、さまざまな分野で使用されている。

県内中小企業等が抱える知的財産権に関する悩みや課題にワンストップで対応するとともに、知財の有効活用を促進するため、「知財総合支援窓口」を設置し、知財を活用した事業化を支援します。

【お問い合わせ】

あきた企業活性化センター／
知財・研究管理担当(018-860-5614)まで。



主力製品である絶縁型PTCヒーター。内部が真空になっていて、水分のある場所でも絶縁性を保つ性質がある。用途として主に浴室乾燥・暖房用ヒーターに使用されている。

してもらった。時間を無駄にすることなくスムーズに出願できた」と話す。

“特許申請”で得られた効果

申請にあたっては、「自分たちが日ごろ行っている製造技術に、特許性はあるのだろうか？」との不安もあった。そこで、まずは「知財総合支援窓口」にメールで相談し、それを機に、特許の基礎知識や調べ方について「出前特許セミナー」を受けた。その後、「弁理士派遣相談」を利用し、同社の開発技術に特許性があり、他社の特許技術を侵害する可能性も低いとの助言を受けて出願に踏みきった。「“特許を取りたい”という希望が一歩前進し、技術担当のモチベーションは確実に上がった。また、知的財産に対する社内の意識も向上した。会社としても、特許に結びつく製品を作っているということで信頼性が高くなる。今後も新たな特許申請を目指して技術を磨いていきたい」と神原社長。申請を機に、“技術者魂”は一層熱く燃えている。



本荘工場の製造ライン。自社製造の「素子」と部品を組み立てて、各種検査を経て出荷となる。



「シリコン充填」の作業風景。それぞれの工程を作業員が1つ1つ丁寧に進めていく。



「特許を狙える技術は、まだまだ出てくる可能性がある」と期待を寄せる神原社長。

株式会社リミックス

〒018-0301 秋田県にかほ市飛字餅田13-9
Tel.0184-32-4660 Fax.0184-32-4661
<http://www.j-limix.co.jp/>
[本荘工場]
秋田県由利本荘市三条字三条谷地35-1
[秋田工場]
秋田県横手市平鹿町中吉田字下藤根34